

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 8月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271401897
法人名	有限会社 風の森
事業所名	グループホーム 風の森
所在地	〒859-2215 南島原市西有家町長野762番地 (電話)0957-82-1502

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年 8月11日	評価確定日	平成20年 8月29日

【情報提供票より】(平成20年 7月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 6月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17人 常勤 14人, 非常勤 3人, 常勤換算 11人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	3,000 円	その他の経費(月額)	3,000円・実費	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,000 円	

### (4) 利用者の概要(7月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	2名	要介護2	6名		
要介護3	8名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.1歳	最低	70歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田循環器科内科・明島整形外科・吉田歯科・老人保健施設フォンテ・菜の花クリニック
---------	--


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

郊外の、静かで緑豊かな場所に立地しており、居間からは有明海が見渡せ、庭に出ると背景には雲仙普賢岳のきれいな山並みが一望できる開放感溢れる環境である。周囲には畑もあり、四季折々の農作物をとおして季節感を感じることもできる。平屋造りのホームは居間や廊下などスペースが広く、利用者がゆったりと過ごせるよう配慮されている。ホームでの生活は、利用者が思い思いに、自分らしく暮らせることが最も大切にされ、職員はそれが実現できるようにさりげなく支援している。また、利用者が自由に近隣を散歩したり、あるいは買い物したりできるように地域への理解と協力が得られるための取組みも積極的になされており、入浴や食事などもそれぞれの希望に応じて柔軟に対応されている。一人ひとりのニーズにきめ細かく対応され、利用者は明るく、または静かにとそれぞれに過ごされているのが印象的なホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点は災害対策が挙げられており、それについては全職員で話し合い、また運営推進会議で検討していただくなどして、定期的な避難訓練の実施や避難場所の確保及び消防署等の関係機関との連携体制構築、地域の協力体制について取り組んでおり、運営推進会議の委員に地元消防団の方も入られている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	日常の業務を振り返る機会として全職員が自己評価を行い、外部評価の結果に基づき更にサービスの質の向上について全職員で話し合い、取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議では、防火安全対策についてや日々の活動について、及び入居者の状況についてなどの議題で協議されている。防火安全対策については各委員の方々からの意見を参考にして、特に地域の協力体制について取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	面会等でホームに来られた際、あるいは電話連絡や広報誌などでホームの状況及び利用者の様子について伝えている。その上で、家族からは何でも気軽に言っていただけのような関係作り、雰囲気づくりに努め、家族から直接言いにくいことについては意見箱に投函していただくようお願いしている。意見や要望があった場合には全職員で協議・検討し、迅速に改善するようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の行事や催しにはできるだけ参加し、交流を深めるようにしている。また近隣の小学生の来所や小学校への訪問などを定例化し、交流を図っている。散歩や買い物にも日常的に出かけ、その際に地域住民と気さくにおしゃべりするなどして触れ合っている。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの基本理念を踏まえ、地域社会とのつながりを保ちつつ、利用者一人ひとりが自分らしく暮らしていけることをホームの理念とし、わかりやすく簡潔な表現で示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念は全職員が十分理解し、それを日々の業務の中で具現化できるよう会議等の場で確認するようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や祭りなどに参加したり、近隣の小学生との交流を定例化して行っている。また、日常的に買い物や散歩に出かけて地域の人々と触れ合っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々の業務を振り返る機会として自己評価を全職員で行い、外部評価の結果に基づき更にサービスの質の向上に向けて全職員で話し合い、取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々に運営推進会議の委員になっていただき、特に地域との交流の促進の観点から助言や意見をいただき、それを活かすようにしている。また、評価結果の報告を行い、評価についての意見をいただき、改善の参考としている。		

グループホーム 風の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の事業にホームとして積極的に参加するなどして、ホームの理解の促進を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会に来られた際に近況報告をしたり、また遠方にいらっしゃる家族へは電話連絡をしたり、広報誌を送付するなどして近況を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に苦情や要望を言えるような関係作り、雰囲気づくりに努めている。また直接言いにくいことは、ホーム内に設置されている意見箱に投函していただけるようお願いしている。申し出については職員会議で検討し、改善するようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響を考慮し、職員の異動は止むを得ない場合以外は極力行わないようにしている。やむを得ず異動になった場合は、新しい職員と利用者ができるだけスムーズにコミュニケーションが図れるように、馴染みの職員が間に入るなどの工夫をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会や勉強会への参加はできるだけ多くの職員が参加できるようにしている。また、職員の勤務年数や勤務経験等の段階に応じた研修の参加もホームとして積極的に奨励しており、受講希望者が受講しやすいように全体で協力している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域にあるグループホームケア研究会に加入し、そこが主催する勉強会や研修会、交流会には積極的に参加するなどして、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居後も本人が安心してホームでの生活を送れるように、家族とホームが連携し、自宅への外出や外泊、家族の面会や宿泊の調整を行いながら、新しい生活環境での混乱を最小限にする工夫をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と職員という垣根を越えて、共に暮らしていくことを大切にしており、一緒に過ごしていく中での楽しい事、つらい事などを利用者と一緒に感じ、共に考え、共に喜び、お互いに支えあい、励ましあう関係づくりに努めている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや意向を把握するために日々の関わりの中で把握に努めたり、家族にも協力をお願いし、家族を含めて話し合い、検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者一人ひとりニーズに即した介護計画となるように、本人及び家族の希望を確認し、またケア会議において全職員の意見も聞き、介護計画に反映している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎の定期的な見直しを行っており、これまでの進捗状況を把握・検討した上で新たな介護計画を作成している。また、定期的な見直し以前に介護度の変更や状態に変化があった場合には、ご家族も含めて検討し、見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診の付き添い支援や帰省時の送迎、冠婚葬祭への出席の支援など、利用者及びご家族の要望には柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院は利用者のかかりつけ医の医療機関を受診出来るようにしており、必要な方には通院の支援をしている。また通院が困難な方へは主治医と連携を図り、訪問診療に来てもらっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期についての指針を作成し、それに基づいて家族、医療機関等と話し合い、対応している。重度化した場合についても本人及び家族の意向を尊重した上で医療機関との連携について方針を共有し、対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への言葉かけは、親近感が感じられるような表現をしつつも、礼儀をわきまえた対応をするよう施設長はミーティングなどの機会を利用し職員に話している。また個人情報等の取り扱いについても守秘義務を徹底している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な流れはあるが、食事の時間や入浴の時間など利用者のその日の気分や体調に合わせて柔軟に対応している。		

グループホーム 風の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備の際は切り込みなどの下ごしらえ、味見、盛り付け等一緒に行っており、できたときの喜びを分かち合い、一緒に食事を楽しむなど食事の時間を大切にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	いつでも気軽に入浴できるよう準備しており、シャワー浴、浴槽を利用した入浴、足浴等の部分浴、清拭等、利用者の体調や希望に応じて対応している。また、入浴拒否傾向にある利用者へは、親しい他の利用者から声をかけてもらい、一緒に入浴を楽しんでもらうなどの工夫をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、楽しく生きがいのある暮らしが送れるように、利用者がしたいこと、出来ることを職員と協働で行うなどして自分なりの役割が持てるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣を自由に散歩したり、好きな時に買い物に出かけたりしている。その際に、地域の方々とおしゃべりしたりと楽しく過ごされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム全体で鍵をかけないケアに取り組んでおり、利用者は自由に外へ行き来し、職員はそれをさりげなく見守っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の協力のもとに消火訓練、避難訓練を行なっている。また、運営推進会議等で地域の消防団への協力をお願いしている。		

グループホーム 風の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量を記録し、把握するようにしている。また、利用者の状態に応じて食材の切り方や調理、盛り付けを工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間などの共用スペースには家庭的な装飾がなされるなどの工夫がなされ、台所をオープンキッチンにして料理を作る際の音や匂いを感じてもらい、食欲増進につなげたり、気軽に家事に参加できるようにしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	日用品や収納タンス、仏壇など、使い慣れた物や大切な品々を持ち込まれ、配置や装飾なども利用者と話し合われて、利用者が安心して過ごせる居室づくりを支援している。		